



Rohde & Schwarz、Airports of Thailand (AOT) の空港にミリ波セキュリティスキャナを導入

Rohde & Schwarzの先進イメージング技術 (AIT) を搭載したQPS201セキュリティスキャナが、年間6,000万人の利用者を誇るアジア有数のハブ空港であるバンコク・スワンナプーム国際空港をはじめとする、Airports of Thailand (AOT) が管理する空港の保安検査場に導入されます。



Caption: タイの空港に導入されるQPS201スキャナにより、より迅速な保安検査と優れた旅客体験を実現。

AIを活用したミリ波セキュリティスクリーニング技術の世界的リーダーであるRohde & Schwarzは、ECACおよびTSA認証を取得したQPS201先進イメージング技術 (AIT) セキュリティスキャナを、Airports of Thailand (AOT) が管理する5つの空港の旅客保安検査場へ導入する案件を受注しました。対象には、国内線・国際線を単一ターミナルで運用するタイ・スワンナプーム国際空港も含まれます。

QPS201は、高度な検知性能と効率的かつ直感的な運用手順を組み合わせ、旅客と保安スタッフ双方にメリットをもたらします。革新的なミリ波技術とAIベースのアルゴリズムにより、禁止物品の検知に関する規制要件を満たしながら、誤報率を低く抑えます。この技術により、高い保安性能と利用者の利便性を両立し、旅客体験全体の向上に貢献します。旅客はスキャナ内で腕を下ろした自然な姿勢を数秒間維持するだけで検査が完了し、身体上の潜在的な脅威は個人の身体的特徴を表示することなく、標準化されたデジタルアバター上に表示されます。スキャンは数ミリ秒で完了し、開放的な設計と自然な検査姿勢により、すべての利用者にとって容易で利用しやすい保安検査を実現します。

QPS201は米国運輸保安庁 (TSA) の認定を取得しており、米国内の旅客保安検査場での使用が認められています。また、TSAおよび欧州民間航空会議 (ECAC) の最高水準の認証も取得しています。現在、世界中の空港で2,000台以上のシステムが導入されています。

Airports of Thailand (AOT) は、QPS201の高い性能と優れた検知精度を高く評価しており、保安検査の迅速化、旅客体験の向上、さらには保安検査体制全体の強化につながるとしています。

QPS201の詳細および組織にもたらすメリットについては、www.rohde-schwarz.com/security-screening.html をご覧ください。

www.rohde-schwarz.com

【ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社について】

Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. (以下ローデ・シュワルツ社) は、1933年、ドイツ・ミュンヘンでDr. Lothar RohdeとDr. Hermann Schwarzによって設立されました。電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各分野で事業を展開するテクノロジー企業として、より安全に“つながる”社会の実現を目指しています。ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社は、2003年にローデ・シュワルツ社の完全な独立会社として発足し、自動車、ワイヤレスコミュニケーション、エレクトロニクス、航空防衛など多岐にわたる分野で、日本国内の製品販売およびサービス・サポートを行っています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、<http://www.press.rohde-schwarz.com>からインターネットでご提供しています。

■本件に関するお問い合わせ■

〒141-0033

東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー20階

ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社

マーケティング部 関野 敏正 (Toshimasa Sekino)

電話番号 : +81 3 5925 1270/1290

Eメール : Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com

Webサイト : https://www.rohde-schwarz.com/jp/home_48230.html